

取組紹介 【具体的な取組内容 1／2】

- 震災により失われかけている地域の畜産農家同士のつながりを回復するため、「畜産セミナー」を開催
- 個別の畜産農家に対する畜産専門家による経営改善支援を実施
- 地域資源を活用した新たな畜産業の展開にも取組

「畜産セミナー」の開催

地元自治体やＪＡ等関係機関と連携し、県外の先進農家等を講師に招きセミナーを開催、畜産農家同士のネットワーク構築と技術・経営の向上に取組。

令和3年7月16日に葛尾村にて「畜産と地域振興」をテーマに「第4回畜産セミナー」を開催（葛尾村のヤギ、ヒツジ飼養事業者等が登壇）。新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、三密回避、手指消毒、換気等の対策を講じて実施した。参加は会場30名、オンライン（Zoom）35名（相双機構関係者除く）。



第4回セミナーのようす

畜産専門家による経営改善支援

令和元年8月より、畜産専門家を招いて、若手畜産農家に対し、持続可能な所得確保を目指す経営改善支援を開始。現状の経営分析、増頭目標実現に向けた検証をもとに、草地の品質向上と管理作業の改善への支援、ワークライフバランス確保のための畜舎整備の検討等を実施。



専門家による草地改善検討

取組紹介 【具体的な取組内容 2／2】

新たな畜産業の展開への取組(1)

リンゴジュース粕を活用した混合発酵飼料をめん羊に給餌し、高品質な羊肉の生産実証試験の取組を支援。（令和2年度 J R A 畜産振興事業※に採択）

※（期間）令和2～4年度 （実証先）相双地域畜産農家 （技術実証）国立大学による協力

令和2、3年度は4頭生産し、通常飼養との食味の比較評価を踏まえ、給餌方法、飼育環境の改良などに取り組んだ。



稀少な国産の肉用羊

新たな畜産業の展開への取組(2)

ヤギ肉やヤギミルク石鹼製造販売、観光牧場等に取り組む、村民出資による株式会社「かつらおファーム」を会社設立時から支援。ハラル食を取扱う企業との資本提携など、相双地域では例のない先進的な取組を進めるにあたり、企業形態選択、資本提携や収入基盤の検討、関係機関との交渉等の場面において、当機構が相談に乗ったり交渉支援をしてきた。

- ・ 令和2年9月中旬より石鹼製造場整備に着手。
- ・ 令和2年10月頃に肉用山羊を初出荷(ただし初回は千葉の第二牧場からの出荷)。
- ・ 令和3年5月29日(土)観光牧場「かつらおヤギ広場がらがらどん」オープン。



葛尾村の山羊牧場

取組紹介 【各地での活動】

【全体】

- 「畜産酪農懇談会・第1回セミナー」
(於南相馬市・平成30年6月19日)



- 畜産農家有志での茨城県大子町の益子農林
(第1回セミナー講師)・CBS訪問見学会 (平成
30年11月30日)

※南相馬市、飯館村、葛尾村の畜産農家が参加



- 「畜産酪農懇談会・第2回セミナー」
(於葛尾村・平成31年3月18日)

※平成31年度／令和元年度は、台風被害や
新型コロナウイルス感染拡大により、セミナーは
開催できず延期。

- 「福島相双復興推進機構
・第3回畜産セミナー」
(於田村市・令和2年11月11日)



- 「福島相双復興推進機構
・第4回畜産セミナー」
(於葛尾村・令和3年7月16日)

- 「福島相双復興推進機構
・第5回畜産セミナー」
(於葛尾村・令和4年6月28日)

【南相馬市など】

- 「畜産未来の会」との、畜産勉強会を実
施 (平成30年2月28日)

※JAふくしま未来と連携

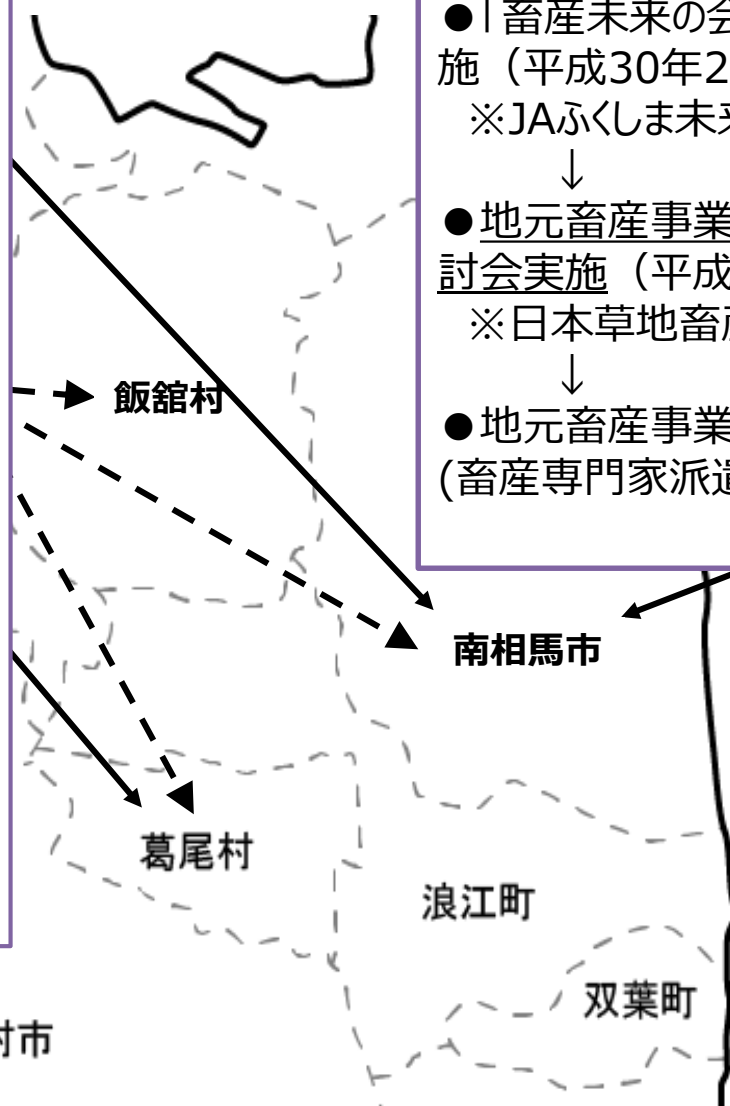


- 地元畜産事業者様の牧場計画現地検
討会実施 (平成30年10月22日)

※日本草地畜産種子協会と連携



- 地元畜産事業者の経営改善支援実施
(畜産専門家派遣)(令和元年8月～)



【葛尾村】

<ヤギ牧場（肉・乳・観光）>

●葛尾村畜産勉強会実施

- ・平成28年10月、12月、翌年5月(計3回)

↓<波及効果>

●地元有志による（株）かつらおファーム設立。

（平成29年12月）

※会社設立時より経営に関する方針、各種活動や交渉事について相談対応・協力。

- ・平成30年12月（株）農と資本提携成立

- ・令和2年 肉用羊(ハラル食向け)出荷開始

石鹼製造施設の整備※

※施設整備等に係る「里山経済活性化事業」の専門委員として、萬田技術参与が参画。

- ・令和3年5月29日（土）

観光牧場「かつらおヤギ広場がらがらどん」オープン

<ヒツジ牧場（肉）>

●「混合発酵飼料を用いた羊肉生産実証事業」スタート

- ・令和2年度JRA畜産振興事業採択

～3カ年で実施

※葛尾村めん羊事業者と国立大学等が連携実施。相双機構と村役場が現地サポート。

※大学等とのマッチングは、萬田技術参与のサポートにより実施。

【田村市】

- 畜産農家の要望を受け、(株)JA和牛ファーム福島さくらCBS見学会を企画・実施（令和元年10月4日）



【富岡町・川内村など】

- 富岡町内でソルガム実証栽培・土壌環境回復に取り組む企業・地元農家と、堆肥供給先を探していた川内村の酪農家を耕畜連携マッチング（平成30年4月）

※そのほか県内外の専門機関紹介等を実施

<なお、富岡町での当該PJは既に終了した>

<一過性でない「持続的な活動」を目指す>

取組紹介 【これまでの取組 1／4】

○事業者様の牧場計画現地検討会

- ・南相馬市の畜産事業者様の牧場現地検討会を開催。
- ・(一社)日本草地畜産種子協会から、放牧アドバイザーを講師にお招きしました。



- ・平成30年10月22日開催
- ・主催：福島相双復興推進機構(ご関心を持たれた他の畜産事業者の皆様ほか、相双農林事務所様、南相馬市役所様、東北農政局様にもご参加いただきました。)

取組紹介 【これまでの取組 2／4】

○先進事例見学会

- ・茨城県大子町の益子農林、CBSを、相双地域の畜産有志で見学。
- ・益子農林代表は、第1回セミナー講師の益子光洋様。

◎キャトルブリーディングステーション（CBS）＜11時～12時＞



CBSの説明



預託牛



「養牛カメラ」



「牛歩」



飼料調製の説明

◎牛舎、省力技術、放牧場 ＜13時30分～16時＞



木造牛舎①



木造牛舎②



左の牛舎に隣接するパドック



パイプハウス牛舎



鉄筋牛舎（建設中）



林間放牧場



らくらくきゅうじくん



チェーンブロック三脚



急峻な棚田跡地の放牧場利用

- ・平成30年11月30日開催
- ・主催：福島相双復興推進機構

取組紹介 【これまでの取組 3／4】

○畜産農家と耕種農家の耕畜連携支援

- 訪問活動を通じ把握した畜産農家(酪農家)の堆肥処理の課題に対し、堆肥需要のあった耕種農家・企業によるソルガム実証栽培プロジェクトとのマッチングを実施。

【支援概要・成果】

- 訪問活動を通じて伺った川内村の酪農者の課題（堆肥処理に困っている）に対し、除染による地力不足や土壤環境回復のためにソルガム栽培を計画、堆肥調達が課題となっていた富岡町の耕種農家をマッチングし、両者間で堆肥取引が成立。
- ソルガム実証栽培のサポートのため、県内外の関係機関を紹介。

【耕畜連携のイメージ】

ふん尿などを再利用した堆肥



堆肥を施した農地で栽培された飼料作物、稲など

（当該ソルガムの実証栽培プロジェクトは終了済み）

【ソルガム】



○畜産関連施設視察会

- ・地域の畜産農家からのご要望を受け、平成31(2019)年3月に完成した(株)JA和牛ファーム福島さくら(田村市)のCBS視察会を企画・開催。



- ・令和元(2019)年10月4日開催
- ・地元畜産農家9名参加、JA職員の解説を受けながら見学を行った。